

【第 1 回】令和 3 年 11 月 30 日（火）

- (1) 海洋科学技術委員会における検討の進め方について
- (2) 海洋科学技術の現状と展望について（ヒアリング）
 - ① 今後の海洋科学の方向性とその実現に向けた取組について
 - ② 海洋観測等の現状について
 - ③ 海洋分野における総合知及び市民参加型の取組について
- (3) 意見交換

【第 2 回】令和 4 年 1 月 11 日（火）

- (1) 海洋科学技術による持続可能な社会への貢献について（ヒアリング）
 - ① 気候変動問題への対応のために必要な取組について
 - ② 海洋生態系の理解、持続可能な利用・保全のために必要な取組について
- (2) 意見交換

【第 3 回】令和 4 年 1 月 24 日（月）

- (1) 海洋科学技術による持続可能な社会への貢献について（ヒアリング）
 - ③ 海洋に関する国際的な枠組みと動向について
- (2) 安全・安心な社会の構築に資する海洋科学技術の在り方について（ヒアリング）
 - ① 防災・減災への貢献のために必要な取組について
 - ② 海底資源探査や海底地形調査の促進等のために必要な取組について
- (3) 意見交換

【第 4 回】令和 4 年 3 月 2 日（水）

- (1) 安全・安心な社会の構築に資する海洋科学技術の在り方について（ヒアリング）
 - ② 海底資源探査や海底地形調査の促進等のために必要な取組について
- (2) 意見交換（第 1～3 回の議論のまとめ）

【第 5 回～】令和 4 年 4 月以降（予定）

- 海洋に関するデータの共有・収集・整理と他のデータの連携の在り方についてヒアリング、意見交換
 - ① データ共有・連携の在り方について
 - ② 海洋におけるデータ通信技術の現状と今後の技術開発等の在り方について
- 海洋開発分科会での意見を踏まえ、不足している論点等について検討

科学技術・学術審議会 海洋開発分科会 海洋科学技術委員会 委員名簿

(50音順、敬称略)

(臨時委員)

河野 真理子	早稲田大学法学学術院教授
川辺 みどり	東京海洋大学学術研究院海洋政策文化学部門教授
◎河村 知彦	東京大学大気海洋研究所長・教授
阪口 秀	公益財団法人笹川平和財団常務理事・海洋政策研究所所長
谷 伸	国際水路機関・ユネスコ政府間海洋学委員会合同 GEBSCO 指導委員会委員
廣川 満哉	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構特別参与（金属環境・海洋・石炭本部担当）
藤井 徹生	国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所さけます部門長
前川 美湖	公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所海洋政策研究部主任研究員
見延 庄士郎	北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学部門教授

(専門委員)

河野 健	国立研究開発法人海洋研究開発機構理事
須賀 利雄	東北大学大学院理学研究科教授

◎：主査

(令和4年3月現在)